鈴木其一

RIMPA19 SUZUKI KIITSU

STANDARD-BEARER OF THE EDO RIMPA SCHOOL

琳派展XIX

細見美術館

琳派展XIX　鈴木其一　江戸琳派の旗手

平成二十九年一月三日（火）～二月十九日（日）

前期：一月三日（火）～一月二十二日（日）　中期：一月二十四日（火）～二月五日（日）　後期：二月七日（火）～二月十九日（日）

主　催　細見美術館　読売新聞社
協　賛　光村印刷
休館日　毎週月曜日（祝日の場合、翌火曜日）
開館時間　午前十時～午後六時（入館は午後五時三十分まで）
入館料　一般一三〇〇円（一二〇〇円）　学生一〇〇〇円（九〇〇円）　※（　）内は二十名以上の団体料金
チケット販売　細見美術館／セブンチケット／ローソンチケット（Lコード：56656）
会　場　細見美術館　京都市左京区岡崎最勝寺町6－3
TEL　〇七五－七五二－五五五五　http://www.emuseum.or.jp

「十二ヶ月図扇　二月」（部分）　太田記念美術館

「三十六歌仙・檜図屏風」（部分）　個人蔵

「十二ヶ月図扇　七月」（部分）　太田記念美術館

噌々 KAI KAI 其一 KIITSU 菁々 SEI SEI

リピーター割引：本展チケット半券のご提示で、次回入館料が200円引き（会期中有効）

琳派展XIX
鈴木其一　江戸琳派の旗手
RIMPA19 SUZUKI KIITSU
STANDARD-BEARER OF THE EDO RIMPA SCHOOL

平成29年1月3日(火)～2月19日(日)

前期：1月3日(火)～1月22日(日)

中期：1月24日(火)～2月5日(日)

後期：2月7日(火)～2月19日(日)

①

②

③

④

①「足柄山秘曲伝授図」
個人蔵
②「富士千鳥筑波白鷺図屏風」
（右隻）個人蔵
③「十二ヶ月図扇　二月」
太田記念美術館
④「花笠図扇面」
鴻池合資会社資料室

⑤

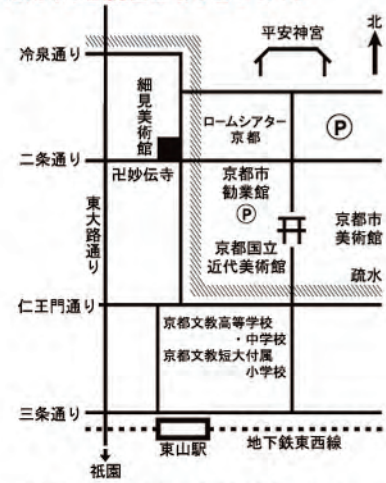
⑥

⑤「風神雷神図襖」
東京富士美術館
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom
⑥「水辺家鴨図屏風」
細見美術館
⑦「雪月花三美人図」（左幅）
静嘉堂文庫美術館
©静嘉堂美術館イメージアーカイブ/DNPartcom
⑧「夏宵月に水鶏図」個人蔵

鈴木其一（1796～1858）は江戸後期に、江戸琳派の優美な画風を基盤にしながら斬新で独創的な作品を描きました。その其一画の全容を捉える初の大回顧展を開催します。

其一は江戸琳派を開いた酒井抱一（1761～1828）の一番弟子です。抱一は、宗達、光琳による京都の琳派様式を、江戸の地でさらに写実的で洗練された画風に磨き上げました。

抱一の没後、其一の作風は次第に師風を超え、「噲々」と号した30代後半からはダイナミックな構成や明快な色彩を特徴とする新たな様式を築きます。さらに「菁々」と称した晩年にはより挑戦的で自由な作風を追求し、近代を先取りするような清新な作品も少なくありません。また其一は「描表装」など趣向に富んだ作品を多く手掛け、クリエーターとして広く活躍しました。本展は江戸画壇を豊かに彩った其一画の魅力とその展開、さらに近代に至る江戸琳派の道程を存分に堪能していただける展覧会となりましょう。



●市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
●市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
●地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

【会期中のイベント】
※事前申込制・有料 詳しくはホームページへ。

・第38回アートキューブレクチャー
江戸琳派 画狂其一の挑戦
2月5日(日) 午後2時～
講師：岡野智子（当館上席研究員）

・茶室 古香庵　鑑賞茶会
其一好みの「白椿と楽茶碗」に寄せて
2月11日(土・祝)

【次回展予告】
ヨーロッパ名窯 美麗革命！
アール・ヌーヴォーの装飾磁器
2月28日(火)～4月9日(日)

⑦

⑧